

たんぽぽ (0歳児)	<p>安全なスベアを確保し、十分に体を動かして遊べるように行えるよう、環境を工夫した。</p> <p>音の出る玩具に興味を示し、手作り玩具を提供。子どもの月齢に合わせて遊びを楽しめるように工夫して、作成に取り組んだ。</p>	<p>食事の様子を詳しく伝え、食材の導入、調理の形態の連携を図り、離乳食のメニューの説明を個別面談で行った。</p> <p>機嫌よく声を発したときの関わりは重要なので、家庭の様子や園での様子を伝え合い、保護者とともに成長の喜びと共有し合った。</p>	<p>手を使って食べながらも、食に興味を持って意欲的に取り組めるよう「ご飯おいしいね」と、保育教諭が笑顔で答え、言葉のやり取りを繰り返し、楽しむことと、完食するという事で、達成感を味わい、次につなげられる保育を行った。</p> <p>授乳はしっかりと抱いて、安定した状態で進められるようキンシップを大切にしたい。</p>	<p>毎日の様子を把握し、異常の早期発見に努めた。</p> <p>こまめにおむつ交換をし、優しい言葉を掛けながら行うようにした。</p> <p>外気浴をする際は、日照りや気温、紫外線情報に注意し、水分補給を行った。</p> <p>発達に見合った活動が十分にできるスベアを作り、個々の活動から予測される危険を未然に防ぐように心掛けた。</p>	<p>新年度の最初に行事のため、別の保育室や遊戯室へ移動するだけで、泣く姿が見られたが、少しずつ場所に慣れる様保育教諭が声掛けをし、安心して参加できるよう配慮した。</p> <p>行事に参加できる子とできない子がいた為、参加できない家庭にも声掛けや配慮を十分に行った。</p>	<p>担任用の伝達ノートに体調の変化や生活のリズムなど、特に細かいチェックしたことにより、一人一人の情報を伝え合い、共通認識して担当保育教諭と同じような関わりができ、子ども達も機嫌よくすごせ、安定した保育ができた。</p> <p>一人一人の食事、睡眠など子どもの要求に合わせて対応することと、生活リズムが整い、後半も落ち着いて過ごすごことが出来た。</p>	生活とあそび	<p>一人遊びをじっくりと楽しむ子や、友だちと関わり遊び姿が見られ、一つの遊びを集中して行う子も見られた。模倣を行う子や、役になりっこ遊びを行う子も見られた。</p> <p>友達への興味、関わりが増えた分、トラブルも多く、仲介し、お互いの納得いく解決にならない時もあった。</p> <p>生活では、基本的な生活習慣の中で、興味を持ったことを保育教諭と一緒に行動として遊ぶ姿も見られ、個人差も見られるが、自ら取り組もうとする姿が見られ、手を出しすぎてしまったり、一人一人に合った援助を行った。</p>	排泄	<p>食事の時間は、皆と楽しい雰囲気になるよう心掛けた。その際、スプーンやフォークの正しい持ち方を教えるよう指導した。</p> <p>栄養士より正しい箸の持ち方を教えてもらい、個人差を考慮して進める事が出来た。</p>	健康・安全	<p>咳、鼻水の出ている子どもも多く、薬を飲んでいる時期が長い子もいた。</p> <p>胃腸炎からくる嘔吐をおこし、救急搬送された子や、まぶたを切り受診した子と、病院受診の子が多かった。</p> <p>保育教諭同士声を掛け合い、子ども達から目を離れないよう心掛けたが、防げなかった怪我也あった。</p>	全体として	<p>一人遊びをじっくりと楽しむ子や、友だちと関わり遊び姿が見られ、一つの遊びを集中して行う子も見られた。模倣を行う子や、役になりっこ遊びを行う子も見られた。</p> <p>友達への興味、関わりが増えた分、トラブルも多く、仲介し、お互いの納得のこでの言葉を覚えられるよう配慮した。</p> <p>絵本を通して模倣遊びへ発展し、遊びが広がると同時に、保育教諭が一緒に遊べない時もある事で、友だちと関わる楽しさを伝えられる様援助を心掛けた。</p>	<p>食事の時間は、皆と楽しい雰囲気になるよう心掛けた。その際、スプーンやフォークの正しい持ち方を教えるよう指導した。</p> <p>栄養士より正しい箸の持ち方を教えてもらい、個人差を考慮して進める事が出来た。</p>	<p>健康・安全</p>	<p>健康・安全</p>	<p>行事</p>	<p>子ども達の話したい気持ちを受け止める様心掛けたが、出来ない時もあった。</p> <p>室内でも体を動かす事ができるような配慮をすることができた。</p> <p>個々のペースに合わせて対応を心掛けた。</p>
ちゅうりっぷ (1歳児)	<p>一人遊びをじっくりと楽しむ子や、友だちと関わり遊び姿が見られ、一つの遊びを集中して行う子も見られた。模倣を行う子や、役になりっこ遊びを行う子も見られた。</p> <p>友達への興味、関わりが増えた分、トラブルも多く、仲介し、お互いの納得のこでの言葉を覚えられるよう配慮した。</p> <p>絵本を通して模倣遊びへ発展し、遊びが広がると同時に、保育教諭が一緒に遊べない時もある事で、友だちと関わる楽しさを伝えられる様援助を心掛けた。</p>	<p>食事の時間は、皆と楽しい雰囲気になるよう心掛けた。その際、スプーンやフォークの正しい持ち方を教えるよう指導した。</p> <p>栄養士より正しい箸の持ち方を教えてもらい、個人差を考慮して進める事が出来た。</p>	<p>健康・安全</p>	<p>健康・安全</p>	<p>行事</p>	<p>子ども達の話したい気持ちを受け止める様心掛けたが、出来ない時もあった。</p> <p>室内でも体を動かす事ができるような配慮をすることができた。</p> <p>個々のペースに合わせて対応を心掛けた。</p>													
ばら (2歳児)	<p>一人遊びをじっくりと楽しむ子や、友だちと関わり遊び姿が見られ、一つの遊びを集中して行う子も見られた。模倣を行う子や、役になりっこ遊びを行う子も見られた。</p> <p>友達への興味、関わりが増えた分、トラブルも多く、仲介し、お互いの納得のこでの言葉を覚えられるよう配慮した。</p> <p>絵本を通して模倣遊びへ発展し、遊びが広がると同時に、保育教諭が一緒に遊べない時もある事で、友だちと関わる楽しさを伝えられる様援助を心掛けた。</p>	<p>食事の時間は、皆と楽しい雰囲気になるよう心掛けた。その際、スプーンやフォークの正しい持ち方を教えるよう指導した。</p> <p>栄養士より正しい箸の持ち方を教えてもらい、個人差を考慮して進める事が出来た。</p>	<p>健康・安全</p>	<p>健康・安全</p>	<p>行事</p>	<p>子ども達の話したい気持ちを受け止める様心掛けたが、出来ない時もあった。</p> <p>室内でも体を動かす事ができるような配慮をすることができた。</p> <p>個々のペースに合わせて対応を心掛けた。</p>													

ゆり組 (3歳児)

・保育室・園庭ともに、安全な環境を作り、子ども達が快適に過ごせる様  
配慮した。  
・園児一人一人の気持ちを受け止めながら、安心して過ごせる様配慮した。  
（安心感や信頼感が持てる様、たくさん関わった）  
・気候により衣服の調節を適切に行い、体調を崩さないよう過ごした。

・毎日の生活の中で、あいさつや返事をしっかりと出来る様に、保育教諭が  
手本となり、活動した。そのため、自然と声が出て、元気に過ごせた。  
・表現では、歌を歌ったり、手遊びをしたり、又、行事を通して自由に表現  
する事を楽しむ中で、自身がついた様子も見られた。  
・集団活動では、他児と合わせる事の大切さ（一緒に取り組む大切さ）や決  
まりを守る大切さを身に付ける事が出来た。

・正しい箸の持ち方では、毎日の食事の時に言葉かけをし、自然と身に付  
くように、おしゃべりや遊びを通して、食事を楽しむ雰囲気の中で食べる事を心掛けた。  
・うどん作り、クッキング、おしゃべり等では、身近な食材に触れ、  
出来る過程も知り、皆で楽しく取り組むことができた。

・園児一人一人の様子をしっかりと確認し、日々の体調管理を把握すること  
で、体調不良や感染症等の早期発見に留意した。  
・アレルギー児には、医師の診断に基づき除去食対応を行い、配膳等にも懸  
念の注意を払った。  
・遊具や玩具の安全点検をしっかりと行った。  
・プールでは、水遊びの決まりや約束を確認し、危険の無いようすすめた。

・送迎時や連絡帳等で密に連絡を取り合った。  
・保護者の気になる事や困っていること等についての話があった時には、親  
身になって話を聞き、個々の支援が必要な時には、その都度対応した。  
・園児の成長や小野田、園の事を伝える事で、共に喜び理解し合う事で信頼  
を築められるよう心掛けた。

・生活する中で、自然と年下のお友達を気にかけて、遊んであげたり、お手伝  
いをしてあげたりする姿が見られるようになり、成長を感じた。  
・年上のお友達の姿を見て、「自分もやってみたい」と意欲的に取り組む姿も  
見られた。  
・年下、年上のお友達とかわる事で、心身ともに成長し、それが自信へと  
つながったようである。

全体として  
・いろいろな経験を重ねる事で、心の成長が見られ、友だちとの関わりも深  
くなった。又、様々な場面での挨拶やマナーを知る事ができ、身に付ける事  
が出来た。  
・少人数で、個性的であり、積極性に欠けていたが、自分の意思や思いを伝  
えられるようになり、その中で、他児の意見も聞き入れられるようになり、  
相手も気持ちよく過ごすことが出来る様になった。

給食室 (LEOC) ・ ・ ・ ミスが多かったで、次年度はミスが無いようスムーズに進めていきたい。又、あれるい一食対応では、皆と同じようなものが出る様、工夫していきたい。食育では、子ども達が楽しみながら、うどん打ちやお箸の  
持ち方など出来たと思う。来年度も子ども達にわかりやすく、楽しみながら学べる食育をしていきたい。  
※幼児保健類型認定ことも園移行1年目の為、保護者の皆様にはいろいろと協力をいただき感謝申し上げます。今後さらに質の高い保育が提供できるようにしていきたいと思ひます。

すみれ (5歳児)

・子ども一人一人が楽しく健康で、安全に過ごせる様、健康状態を保育教諭同士で  
把握し、体調に合わせて活動を進める事が出来た。  
・運動遊びや体を十分に使った後などは、室内にて静かに過ごし、休息を取るなど  
した。

・子ども一人一人に寄り添い、子どもの気持ちを受け止め、安心して過ごせていた。  
・月の指導計画に合わせて、色々な経験ができる様進める事ができた。  
・行事を一つ一つ参加することで、友だちと一つの事をやり遂げる楽しさなど  
を学ぶことができた。

・自分の意見だけでなく、相手の気持ちも考えて、徐々にかかわる事が出来る  
様になった。意見が合わず、トラブルになる事もあったが、保育教諭が間に入  
り、互いの気持ちを伝え進めた。

・食事のマナー「箸の持ち方」「カシ作り」等、給食の先生と話をしながら、取  
り組むことができた。  
・食育を通して、子ども達も楽しく食事が出来たり、色々な体験が出来た。  
・今後も食育を通して、色々な体験ができる様に、給食の先生と連携をとりながら  
進めたい。

・園外に出た際も約束事を守り、楽しく散歩や遠足に行くことができた。  
・自分の体調の変化に気づかず、自ら言えない子供が多かった。徐々に自分の体  
調を伝えていけるよう進めていきたい。

・保護者に園での出来事や、家庭での様子を話したり、各家庭に合わせて対応  
することが出来たと思ふ。  
・毎日話をする事で、保護者とも信頼関係が出来た。

・年少児として、戸外遊びや室内遊びなどを通して、異年齢児とかわる事が多かった。遊び  
の楽しさから思いやりやりの気持ちを持って関わられるよう援助して  
いった。乳児に対しては、あやしてあげようとするなど、こと  
もたちらりに思いやりを持って、関わっている様子が見られた。

・年少児としての自覚を持ち、リードしていきなり、時には我  
の経験を通して、友だちとのきずなや周りの人との信頼関係を  
築くことが出来た。又、自分で考えて行動しながら、主  
体的に活動する様子も数多く見ることが出来た。周りの自然に  
も目が行くよう声を掛け。四季折々の風景を友達と話し合うな  
どの姿も見られた。